

恥の多い生涯を送って来ました。¹⁾自分には、人間の生活というものが、見当つかないのです。自分は東北の田舎に生まれましたので、汽車をはじめて見たのは、よほど大きくなってからでした。自分は停車場のブリッジを、上って、降りて、そうしてそれが線路をまたぎ越えるために造られたものだという事には全然気づかず、ただそれは停車場の構内を外国の遊戯場みたいに、複雑に楽しく、ハイカラにするためにのみ、設備せられてあるものだと思っていました。しかも、かなり永い間そう思っていたのです。

1) この文章は“日本語ダミーテキスト生成器” https://tool.stabucky.com/convert/dummy_text_generator.htm で太宰治「人間失格」のテキストを用いて出力した。

表1 表のサンプル

column1	column2	column3
item11	item12	item13
item21	item22	item23